

SR-S752TR1 V20.06 変更内容一覧

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V14.06～V20.05 ジャンボフレーム受信時	2017バイト以上のフレームを自装置宛て（CPU宛て）に受信(※)すると、装置内で不正に破棄される。また、稀にシステムダウンが発生する場合がある。 ※マルチキャスト、ブロードキャスト、未学習のユニキャストフレームの自装置宛てフラッディングを含む
2	V14.06～ V20.05 温度異常時の縮退機能利用時	装置の内部温度異常検出時に縮退モード（システム停止）へ遷移する設定（sysdown harderr thermal yes）にて、温度異常が検出された場合でも、装置再起動後に縮退モードに遷移せず、通常通りに起動する。
3	V14.06～V20.05 commit try timeコマンド実行時	commit try timeコマンドを実行し、指定時間経過による動的反映の切り戻しが行われ、運用している状態でshow tech-supportコマンドを実行すると、装置が再起動する。
4	V14.06～V20.05 ssh/telnet利用時	loopback ip addressコマンドで設定したloopbackインタフェースにssh/telnetで本装置へ接続後、変更内容に依存せず動的設定反映操作(commit/commit try timeコマンド)を行うと当該アドレスで接続中のセッションが切断されてしまう。※再接続により操作を継続することは可能。